

研究通信 第4号

岡崎市立東海中学校
令和3年6月14日(月)
研究主任 太田 信

鈴木先生 モデルクラスを参観

6月11日(金)、至学館大学の鈴木正則先生が、モデルクラスである2年1組と1年2組の授業を参観されました。授業では、所々で鈴木先生が学級全体に向けてチーム学習の意義やチーム学習が活性化するためのアドバイスを投げかけられていました。



実際に鈴木先生が生徒に伝えた言葉を紹介します。

「私は、みんなが楽しく勉強をできるようにしたい。この“みんな”というのは二つの意味がある。まずはチームの4人の“みんな”。次にクラス全員の“みんな”。どちらの“みんな”も楽しくなるようにしていこう」

「勉強ができないから悪いわけでもないし、できるからいいわけでもない。仲間と勉強することが楽しいと思えるようにしていくことが大切だよ」

「ちょっとチームで相談してみて。(相談の様子を見て) 今はチームで相談できていない人がいるなあ。チームのみんなが参加をしているというのが、チームで相談しているということだよ。さあ、もう一度“チームで相談”をしてみて」

「4人のチームでしゃべるのだから、1対1の会話にならないようにしてね。4人を巻き込みながらしゃべれるということが大切だよ」

「4人いればその中にわからない子は必ずいるよ。自分とは考えが違う子も必ずいるよ。そこがチャンスだよ。教えるということは、教える側が高速で頭をフル回転させるよ。どんな言葉を使おうか、どこがわからないのだろうかってね。だから、教える側が勉強になるよ。教える側が損をすることはないんだよ。自分とは違う考え方の子とどこが違うのかをしゃべると、もっと勉強になるよ。だから、わからない子や自分と考えが違う子がいることは、自分自身の勉強になるチャンスだよ」

「大事なことは相手に確認を取りながら相手の様子を見ながら説明をすることだよ。みんながわかるようにするために、みんなが考えられるようにしゃべろうね。一番わかる子が一方的に一気に説明をしても、それは聞いている人にとっては楽しくないよ」

「相手がしゃべるのを待っているのではなくて、相手がしゃべるように聞き出すことが大事だよ。相手の考えや困っているポイントを聞き出すにはどうやって声をかけたらいいかな。みんな楽しく勉強できるように聞き出してみてね」



次回は7月2日(金)③限2年1組・④限1年2組の数学の授業に来校されます。先生方には鈴木先生から生徒たちへの声かけや生徒の学び方の変化をぜひご覧いただけたらと思います。そして、参考になる声かけや考え方について、各教科でのチーム学習に活かしていただけたらと思います。モデルクラスの授業者の先生方、時間割変更等にご協力いただいた先生方、誠にありがとうございました。